

2025年度 聴講生募集要項

千葉商科大学

1. 聴講生制度について

この制度は、本学基盤教育機構・商経学部・政策情報学部・サービス創造学部・人間社会学部が開設している授業科目のうち、特に志望する特定の科目について勉学をしたい人のために、授業の聴講を認める制度です。

2. 出願資格

本学の聴講生として出願できる者は、次の通りです。

- (1) 高等学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2025年3月までにこれに該当する見込みの者

注. 外国籍の者については、各学期末（春学期：2025年9月30日、秋学期：2025年3月31日）までの在留資格を有する者としてします。なお、学歴を証明する書類等、別途提出していただく場合がありますので、出願前にお問い合わせください。

3. 出願方法等

下記出願書類を期日までにメールにて申請してください。メールでの申請が難しい場合は、教務課までご連絡ください。

(1) 出願書類

- ア 聴講申込書（本学所定用紙）
- イ 健康診断書（疾病及び身体機能の障害のため、聴講に特別な配慮を必要とする者のみ）
 - ・6ヵ月以内に医師が作成した診断書（様式任意）
- ウ 写真（履修許可後に本学での身分証明書用として使用）
 - ・最近6ヵ月以内に撮影した顔写真
 - ・JPEGまたはPNGデータ
 - ・サイズ：縦横比4：3、600×450pixel以上
 - ・ファイル容量：5メガバイト以内

(2) 出願受付期間

- <春学期> 2025年2月5日（水）～ 2月19日（水）
- <秋学期> 2025年7月30日（水）～ 8月17日（日）

(3) 送付先

- <送付先> 千葉商科大学 教務課
- <メール> kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp
※件名は「聴講生の出願について」としてください。
- <電 話> 047-373-9754（受付時間：平日9時～17時）

(4) 選考方法

書類審査とします。但し、書類の記載内容について確認する必要がある場合は、面接を実施することがあります。面接を実施する場合は、出願受付期間終了後3日以内に該当者にメールにてご連絡します。

(5) 面接日（該当者のみ）

当日は、本学本館2階教務課に集合してください。面接時間は追ってメールにてご連絡いたします。

<春学期> 2025年3月5日(水)
<秋学期> 2025年8月27日(水)

(6) 選考結果通知日

メールにてご連絡いたします。電話等による選考結果についての問い合わせには、一切応じません。

<春学期> 2025年3月12日(水)
<秋学期> 2025年9月3日(水)

(7) 聴講登録料及び聴講料の納入期限

選考の結果、聴講生として授業科目の聴講を認められた者は、聴講登録料及び聴講料を納入してください。

ア 聴講登録料 15,000円

但し、本学卒業生及び過去において聴講生又は科目等履修生であった者は、納入の必要はありません。

イ 聴講料 1学期・1科目につき25,000円

ウ 納入方法 選考結果通知時に銀行口座情報をお知らせしますので、期日までにお振込みください。なお、振込手数料は出願者にてご負担ください。

エ 納入期限 <春学期> 2025年3月26日(水)
<秋学期> 2025年9月17日(水)

(8) 聴講可能科目数

ア 1学期に5科目までとします。

イ 聴講申込科目名を別紙の開講科目一覧の中から選択し、聴講申込書の所定欄に記入してください。但し、正規学生の受講状況等によっては、聴講をご遠慮願う科目もありますので、あらかじめご了承ください。

(9) 不開講について

二次履修登録期間の終了時点において、本学在学学生による履修者が3名以下の場合、授業を開講しないことがあります。

4. 出願手続上の注意事項

- (1) 出願書類に不備があった場合は、受理しません。
- (2) 一度受理した書類、聴講登録料及び聴講料は、返還しません。

5. 授業開始日

<春学期> 2025年4月12日(土)
<秋学期> 2025年10月10日(金)

個人情報の取扱いについて

志願者の個人情報(氏名、住所、出身校名、その他当該志願者と特定できる情報)は、本学の個人情報保護方針に基づき、適正に管理します。

なお、聴講生の選考及び聴講登録に関すること、並びに個人を特定できない統計資料作成以外の目的に使用することはありません。

2025年度 科目等履修生・聴講生開講科目一覧

1. 授業実施形式

本学の授業の実施形式は、対面授業または遠隔授業（オンデマンド型・リアルタイム型）となります。下記授業科目に【遠隔授業】の付記がない科目は、対面での授業となります。

・オンデマンド型の遠隔授業とは

本学のCUC PORTALやMicrosoft Teams等のシステムを利用して受講する授業です。履修者は教員が指定する課題（録画された授業動画や資料等）を指定の期間内に各自学修します。授業の詳細は、シラバスを確認してください。

・リアルタイム型の遠隔授業とは

Microsoft Teams等のシステムを利用して受講する授業です。履修者は、教員がリアルタイム配信する授業動画を視聴し、課題に取り組みます。授業の詳細は、シラバスを確認してください。

2. シラバス

シラバスは、以下の本学サイトをご確認ください。

<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

3. 注意事項

・開講学期・曜日等の詳細は、教務課までお問い合わせください。

教務課 E-mail: kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

・単位は全て2単位となります。

4. 共通教養科目群

授 業 科 目		
アジアの歴史	国際関係論	物理学と社会
表象文化論	ジェンダー論	地域共創デザイン論
イギリスの文学と文化	質的調査法	特別講義（スポーツビジネス実践）
音楽史	社会学入門	芸術理論研究入門
教育学入門	社会ネットワーク論	経済思想史入門
現代中国の思想	ビジネス倫理	比較文化論
社会思想史入門	SDGs論	演劇・身体表現論
宗教学	政治学入門	経済学入門
心理学入門	人文地理学入門	現代思想入門
応用心理学入門	日本現代社会論	国際政治学入門
文学研究入門	日本政治史	途上国貧困研究入門
哲学入門	法学入門(公法)	法学入門(私法)
日本史	宇宙科学入門	民俗学入門
東アジア文化論	エネルギー論	ジャーナリズム論
美術史	化学と社会	経済成長と社会問題
Film Studies	テクノロジー論	認知心理学入門
社会史入門	環境倫理	自然地理学入門
倫理学入門	健康科学	データサイエンス入門
歴史学入門	コーチング論	データ活用の統計学
論理学	自然科学入門	サステナブルな地域づくり実践
観光文化論	情報倫理	多文化共生社会論
グローバル・アジア論	情報化社会のための数学入門	地域に役立つ再生可能エネルギービジネス
Global Studies	生物学入門	地球環境論
経済と社会	生命倫理	文化創造論
現代社会と宗教	地学入門	
日本国憲法	統計学入門	

5. 三言語科目（外国語科目群・情報科目群・簿記会計科目群）

授 業 科 目		
英語コミュニケーション基礎B	ドイツ語I	情報科学概論
基礎英語II	ドイツ語II	プログラミング入門
スポーツ英語	ドイツ語III	英語コミュニケーション基礎A
ビジネス英語I	ドイツ語IV	中国語コミュニケーション入門
中級英語I	フランス語I	中国語コミュニケーション基礎
国際語としての英語	フランス語II	異文化コミュニケーション(英語)
中級英語III	フランス語III	異文化コミュニケーション(中国語)
ビジネス英語II	スペイン語I	国際語としての中国語
ビジネス英語III	スペイン語II	情報処理
プレゼンテーション英語	スペイン語III	経理実務入門I
基礎中国語文法I	スペイン語IV	経理実務入門II
基礎中国語文法II	韓国語コミュニケーション入門	税務実務入門I
中級中国語I	韓国語コミュニケーション基礎	税務実務入門II
中級中国語II	異文化コミュニケーション(韓国語)	簿記特講
上級中国語I	韓国語IV	
上級中国語II	情報実践	

6. 生涯ケア科目

授 業 科 目		
生活と金融リテラシーII	キャリア入門	健康・スポーツ演習
生活と金融リテラシーIII	コーチング論	健康科学

7. アドバンスト科目

授 業 科 目		
Grammar in Use	多文化ワークショップ	データサイエンスのための数学
Global Studies	社会科学のための情報学特論	データサイエンスのためのプログラミングI

8.専門科目群

【開講学部：商経学部】

授 業 科 目		
Web情報デザイン	環境経済学	市場戦略論
アメリカ経済論	管理会計論I	時事英語
アメリカ文化論	管理会計論II	社会政策
イギリス文化論	企業と社会	社会保障論
インターネット社会論	企業家精神論	商業中国語
オーラル・コミュニケーション（1）	企業金融論I	商品開発論
オーラル・コミュニケーション（2）	企業金融論II	商法I
オーラル・コミュニケーション（3）	企業経営体験講義	商法II
オーラル・コミュニケーション（4）	起業の実践	消費者金融論
グローバル・マーケティング論I	起業の理論	消費者行動論
グローバル・マーケティング論II	起業基礎実践	証券市場論I
ゲーム理論	技術イノベーション	証券市場論II
コーポレートガバナンス	金融機関論	上級簿記I
コミュニケーション・グラマー（1）	金融商品取引法I	上級簿記II
コンピュータシステム	金融商品取引法II	情報システム論
コンピュータ会計論I	金融論I	情報ビジネス論
コンピュータ会計論II	金融論II	情報メディア論
サービスマーケティング論	刑法I	情報科学概論
ソーシャル・マーケティング論	刑法II	情報技術論
デリバティブ入門	経営管理論	情報資源管理
ネットワーク管理I	経営実践	情報処理
ネットワーク管理II	経営情報システム論	情報数学
ビジネスコミュニケーション論	経営情報処理	職業指導
ビジネス実践	経営診断学I	人間関係論
ビジネス倫理	経営診断学II	人的資源管理
ファイナンシャル・プランニング論	経営戦略論	生産管理
ファイナンス入門	経営組織論I	西洋経済史
ブランド論	経営組織論II	税効果会計論
プログラミングI	経営分析I	税法I
プログラミングII	経営分析II	税法II
マーケティング・コミュニケーション	経済史I	税務会計論I
マーケティング・リサーチ論I	経済史II	税務会計論II
マーケティング・リサーチ論II	経済成長論	組織イノベーション
マーケティング論I	経済政策I	地域開発論
マーケティング論II	経済政策II	地域産業論
マクロ経済学基礎	経済地理I	地域流通診断の理論と実践
マクロ経済学上級	経済地理II	地方財政論
マクロ経済学中級	経済統計基礎	中級簿記I
ミクロ経済学基礎	経済統計上級	中級簿記II
ミクロ経済学上級	経済統計中級	中国ビジネスコミュニケーション基礎
ミクロ経済学中級	経済法I	中国ビジネスコミュニケーション実践
ヨーロッパ経済論	経済法II	中小企業経営論
ヨーロッパ文化論	計量経済学	中小企業診断I
ライティング（1）	原価計算論I	中小企業診断II
ライティング（2）	原価計算論II	中小企業論入門
ライティング（3）	現代の日本経済	電子商取引実践
リーダーシップ論	現代企業論	電子商取引論
リーディング（1）	現代産業論	農業経済学
リーディング（2）	交通経済学	物流論
異文化理解論（1）	公共経済学	保険論I
異文化理解論（2）	公共政策	保険論II
映像情報処理I	工業簿記I	貿易英語I
映像情報処理II	工業簿記II	貿易英語II
英語音声学（1）	行政法I	貿易論I
英語音声学（2）	行政法II	貿易論II
英語学（1）	行動経済学	民法（1）I
英文学（1）	国際会計論	民法（1）II
英文学（2）	国際金融論	民法（2）I
応用情報処理	国際経営	民法（2）II
音楽情報デザインI	国際経済論I	与信管理論A
音楽情報デザインII	国際経済論II	与信管理論B
会計学総論I	国際取引法I	流通システム論
会計学総論II	国際取引法II	流通経済論I
会計監査論I	財政学I	流通経済論II
会計監査論II	財政学II	連結会計論I
会社法I	財務会計論I	連結会計論II
会社法II	財務会計論II	労働法I
外国為替論I	財務報告論	労働法II
外書講読I	産業政策論	
外書講読II	産業組織論	

【開講学部：政策情報学部】

春学期 授業科目	秋学期 授業科目
民法	非営利組織論
法学各論	日本史特論
表現メディア論【リアルタイム】	日本経済論
都市計画入門	都市政策・計画論
地域文化政策論	政策プロセス論
地域政策論	色彩学【リアルタイム】
地域経済論	情報処理技術(ソフトウェア)【リアルタイム】
政治学特論	社会学特論
情報処理技術(ハードウェア)【リアルタイム】	行政法
合意形成論	行政学
公共政策論	経営戦略論
経営学	刑法
記号と社会	環境社会学
環境政策論	環境アセスメント
環境学入門	マーケティング論
ミクロ経済学	コミュニティ政策論
コミュニティ形成論	

【開講学部：サービス創造学部】

春学期 授業科目	秋学期 授業科目
観光政策サービス論	スポーツ・エンターテインメントサービス論
ブライダルサービス論	物流サービス論
小売・流通サービス論	旅行レジャーサービス論

【開講学部：人間社会学部】

春学期 授業科目	秋学期 授業科目
福祉住環境論	まちづくり論
環境と経済	観光社会学
	アジアの経済と社会